

市の特産品を全国にPR

大阪府泉佐野市・福島県相馬市と「特産品相互取扱協定」を結びました

大阪府泉佐野市・福島県相馬市と「特産品相互取扱協定」を結びました。自治体間でお互いの特産品を取り扱えるように協定を結び、特産品の宣伝と販路拡大を通して、お互いの経済と観光産業の発展を目指します。

今後は、当市の特産品を関西・東北地方から全国にPRし、当市の魅力も合わせて情報発信していきます。

シビックプライド推進室
☎995-1803



泉州タオルや泉州ナスが人気 泉佐野市

泉佐野市は大阪府南部にある、人口約10万人のまちです。平成6年に関西国際空港が開港し、世界と日本を結ぶ玄関として発展をしています。古くから商・工・農・漁業がバランス良く盛んです。中でも特産品の「泉州タオル」や「泉州ナス」は全国にもファンが多く、「泉佐野ブランド」として高い評価を受けています。



「人×人」の分野でも交流

昨年7月31日、8月1日に、泉佐野市から中学生が来訪し、運動公園でサッカーの合宿を行いました。市内中学校サッカー部との練習試合も行われ、両市の中学生が交流を深めました。



米や梨、ホッキ貝など地場産品が豊富 相馬市

相馬市は福島県北部にある、人口約3万8千人のまちです。東北地方ですが、冬はほとんど雪が降らず温暖で、夏は涼しい恵まれた気候です。東日本大震災では甚大な被害を受けましたが、市民一丸となって復興を進めています。特産品には米や梨などの農産物、ホッキ貝や小女子などの魚介物があり、豊富な地場産品があります。



両市が裾野のイベントに出店

10月に行われた「市民のふれあいフェスタすその」に、泉佐野市・相馬市共に特産品を出店しました。泉佐野市は「泉州タオル」と「泉州ナス」、相馬市からは「梨」が紹介され、数時間で売り切れてしまうほどの盛況ぶりでした。

